

富士見ヶ丘



校風 思いやり



礼文小

平成31年（令和元年）度全国学力・学習状況調査結果（概要）

全国学力・学習状況調査（6年生）について、本校の結果と改善に向けた各教科での取組の概要をお知らせします。

【本校の結果】

		国語	算数
平成31年度 (令和元年度)	本校	70.0%	73.0%
	全国	63.8%	66.6%
	北海道	62.8%	64.5%

【国語】

1 相当数の児童ができていること【概ね80%以上】

- 読む能力：目的に応じて文章の内容を押さえる（概観して）、自分の考えを明確に（効果的に）読む問題に関する問題。
- 話す・聞く能力：話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問、目的に応じた質問の工夫に関する問題。

2 課題があること【全体的に低い数値】

- △情報を分かりやすく伝える、目的や意図に応じて書く。
- △漢字を文の中で正しく使う。

3 改善に向けての取組

- ◎基礎的・基本的な事項（漢字を正確に書く、接続詞の正しい使い方等）をより一層習得させる。
- ◎目的に応じて文章を読み、内容を整理して書ける力を育てる。そのために、様々な文章を読み、要約や内容に関して条件を満たすよう記述する学習を設定する。
- ◎文章の内容をイメージする読解力と並行して、問題文を読み取る力も指導する。

【算数】

1 相当数の児童ができていること【概ね80%以上】

- 数量や図形についての技能：第4学年【図形】図形の性質、第3学年【数量関係】グラフの読み取り等。
- 数学的な考え方：第4学年【数と計算】示された計算の仕方の解釈、計算しやすい式にする。
複数の数量に対する立式。
【数量関係】目的に適した、伴って変わる二つの数量を見出す。

2 課題があること【全体的に低い数値】

- △数学的な考え方：第5学年【量と測定】示された図形の面積の求め方を解釈し、求め方を説明できる。
- △数学的な考え方：第3学年【数量関係】2つの棒グラフから特徴・傾向を読み取り、1人当たりの使用量の増減を、言葉や数を用いて記述できる。

3 改善に向けての取組

- ◎数学的な考え方の育成に向け、立式の解釈や求め方の説明など、活用を意識した学習場面を設定する。
- ◎グラフから問題の意図に応じて読み取り結果を記述するなど、読み取る力を高める学習場面を設定する。

【児童質問紙】

1 相当数の児童が前向きな回答をしている項目（「当てはまらない」100%）

- 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれる。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。 ○学校に行くのは楽しい。
- 学校の決まりを守っている。 ○いじめはどんなことがあってもいけないこと。
- 人の役に立つ人間になりたい。 ○国語の勉強は大切。
- 日本やあなたが住んでいる地域について、外国に人にもっと知ってもらいたい。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

2 改善を進めたい項目（「当てはまらない」1人以上）

- △将来の夢や目標をもっている。 △新聞を読んでいる。 △算数の勉強は好き。

【改善に向けた方策】

- 基礎的・基本的な知識や技能をより一層習得させる学習場面を設定する。
- 問題解決学習など、課題に対して諸資料などを用いて解決できる、技能や思考力や判断力・表現力を育てる授業づくりを進める。
- 保護者との連携を密にし、自ら進んで学習に取り組む家庭学習など、学習意欲を向上させる。

【具体的改善策】

- 授業改善
 - ①全国学力学習状況調査の自校分析に基づいた考察内容の実施。
 - ②教育課程に基づくカリキュラムマネジメントの実施。
 - ③研究主題の読解力向上と教科横断的な視点での思考力や判断力、表現力の育成。
 - ④知識・技能を活用する場面を増やすことによる、思考力・判断力・表現力の育成。
- 基礎基本の充実と学習のサポート
 - ①家庭学習の充実 ～家庭学習指導の継続（担任点検・取組グラフ等）、「家庭学習の手引き」の活用
学校だより・学級懇談会等での発信と啓蒙による保護者との連携。
 - ②基礎学力養成問題集～礼文検定タイム及び礼文検定における各単元全員合格を目指す取組。
 - ③香深地区小中連携 ～香深井小・香深中と家庭学習等の取組状況の交流及び共有化を図る。
- その他
 - ①生活リズム調べを活用し、望ましい生活リズムと学習についての指導を行う。